

第13回『新・芸能人の多才な美術展』プロジェクトについて

特定非営利活動法人 日本国際文化遺産協会と「文化人・芸能人の多才な美術展」実行委員会（企画：ラリス株式会社）は、5月30日（月）から6月3日（金）までの計5日間、全国の巡回に先立ち、憲政記念館（東京都千代田区永田町）を第1会場として、芸能人、スポーツ選手、写真家、書家、国会議員、漫画家などの美術作品を紹介する『文化人・芸能人の多才な美術展』を開催します。

白いキャンパスに各々の個性や感性を活かして自由に表現する。芸術とは特別の人たちのものではなく、それが絵であろうとオブジェであろうと、世俗を忘れさせ、疲れた心を癒し、豊かにしてくれます。これが私共の意図した芸術文化の創造といったことで、創作する意欲の輪を広く一般の方々にも広げていきたいとの願いから、芸能人や文化人の方々に協力を呼びかけ、平成11年から「芸能人の多才な美術展（旧タイトル）」として美術展を行っています。

今年は、内閣府が認定する特定非営利活動法人日本国際文化遺産協会（2011年3月設立※詳細は別紙ご参照）と「文化人・芸能人の多才な美術展」実行委員会の共同主催となり、東日本大震災で被害を受けた方々の一刻も早い復興を願って「東日本大震災救済応援特別チャリティー企画」を趣旨とし、文化・芸術活動を通じた被災地への救済支援を方針として掲げました。

そして、今回が13回目を迎える『文化人・芸能人の多才な美術展』は、「広げよう文化の輪・芸術は世界を救う！」をテーマとして、歴代の総理（前内閣総理大臣鳩山由紀夫首相、麻生元内閣総理大臣、福田元内閣総理大臣）をはじめ、初出品作家として警視総監の池田克彦氏、戦場カメラマンの宮嶋茂樹氏、高橋邦典氏渡部陽一氏、スポーツ界からはボクシングの元WBA世界スーパーフライ級王者の鬼塚勝也氏、新日本プロレスを代表する中邑真輔氏、プロ野球界で輝かしい功績を残した長嶋茂雄氏、洋画家の絹谷幸二氏、書家の紫舟氏、政治家の後藤田正純氏、落語家の三遊亭圓歌氏、ものまね芸人の亀ひろし氏の計12名が新たに加わり、総勢にして83名もの作家が参加するとともに、155点もの新しい作品を一堂に展示。13年間の集大成ともいえる数多くの作家の協力のもと、既成概念に捉われることなく自由な発想で制作されたオリジナリティあふれる作品の数々を紹介し、より身近に芸術を楽しむためのエンターテインメント要素を意識した美術展として開催していきます。



特に今回は、戦場カメラマンとして注目を集めている宮嶋茂樹氏、高橋邦典氏、渡部陽一氏の3名の参加が実現し、数々の海外受賞作品のほか、今回の東北地方の大震災で撮影された被災地の実写を撮りおろし、それぞれのカメラマンの感性で捉えた作品が初公開されます。

また、スポーツ界から、鬼塚勝也氏がプロボクシングの熱く孤独な戦いと、その輝かしい人生を描いた絵画(80号のキャンバスに表現した渾身の大作)を発表するほか、中邑真輔氏が母校の小学校の生徒ら総勢にして80名と一緒に制作した巨大アート「みんなのパンチ(幅約6メートル、高さ約2メートル)」、長嶋茂雄氏と日本を代表する洋画家の絹谷幸二氏が共同で制作した絵画「富嶽朝陽」などは必見です。

更には、同美術展の趣旨にご賛同いただき、現職の警視総監として知られる池田克彦氏が「神出鬼没」といった書画の掛け軸を出品していただきました。

このほかにも、政界から、書を中心として、鳩山由紀夫前内閣総理大臣の「雨天有友(雨の降っている時も自分には絶えず大切にしてくれる友が有る)」、麻生太郎・元内閣総理大臣の「日本の底力(今回の震災復興に向けて力強い挑戦の気持ち)」、福田康夫・元内閣総理大臣の「無信不立(孔子に政治とは何かを問うた時、孔子は食と兵と信の三つだと答えたと言われる、今の政治の在り方を表した言葉)」、谷垣禎一・自由民主党総裁の「誠者天之道也ー「中庸」(孟子) / (誠は天の道なり これを誠にするは人の道なりの意)」、後藤田正純・衆議院議員の『説苑(ぜいえん) / (後藤田・衆議院議員の座右銘である「逆命利君」といった漢の劉向が編纂した説苑の一節を書にしたもの)』などの力作が多数発表されます。

なお、『文化人・芸能人の多才な美術展』は、憲政記念館での開催を皮切りに、各地の美術館、博物館、国公立文化施設、百貨店などを会場として国内外を巡回していく計画ですが、第1会場の憲政記念館で初日の5月30日(月)に鬼塚勝也氏、福本ヒデ氏、亀ひろし(びんから史郎)氏、川崎麻世氏、ラトナ・サリ・デヴィ・スカルノ氏をゲストに迎えるほか、開催期間中に多数の出品者が来場する予定です。



第13回『新・芸能人の多才な美術展』開催概要

タイトル	東日本大震災救済応援特別チャリティー企画 平成23年度「文化人・芸能人の多才な美術展」 ～広げよう文化の輪・芸術は世界を救う！～ (Entertainment Art Exhibition)
主催	特定非営利活動法人「日本国際文化遺産協会」 「文化人・芸能人の多才な美術展」実行委員会
後援	文化庁 公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団 全国文化財保存技術連合会 財団法人 日本宇宙少年団 (YAC: Young Astronauts Club - Japan)など
協力	財団法人 仏教伝道協会、(株)M.I.プランニング、(有)長谷商事
会場	各地の美術館、博物館、国公立文化施設、百貨店美術館 等
事務局	〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-3-26 元赤坂 MI ビル 5F
企画制作	ラリス株式会社 代表取締役社長 アートプロデューサー松岡久美子 TEL.03-5771-6555 FAX.03-5771-8833
<第1会場>	
会場	衆議院 憲政記念館 (東京都千代田区永田町 1-1-1) ※東京メトロ「国会議事堂前」「永田町」下車、2番出口、徒歩5～7分)
日程	5月30日(月)～6月3日(金) / 9:30～17:00 (入館は16時30分まで)
入場	以下の方々をゲストに迎えます。 ※ご取材をご希望の方は事前にお申し込みが必要です。 ・鬼塚勝也(5月30日 / 9時30分) ・福本ヒデ(5月30日 / 9時30分) ・亀ひろし「ぴんから史郎」(5月30日 / 9時30分) ・川崎麻世(5月30日 / 10時00分) ・ラトナ・サリ・デヴィ・スカルノ(5月30日 / 10時00分) ※当日は、ザ・ニューズペーパーの福本ヒデと、 亀ひろし(ぴんから史郎)がのものまねで登場します。
ゲスト	無料
<第2会場>	
会場	大塚国際美術館 (徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池 65-1)
日程	6月14日(火)～7月31日(日) / 9:30～17:00 ※月曜日休館 (祝日の場合は翌日休館)
入場	一般 800円 (税込み) トキハ双葉会・トキハ会員様 特別ご招待 500円 (税込み)
<第3会場>	
会場	霞ヶ関ビルディング プラザホール (東京都千代田区霞ヶ関 3-2-5) 銀座線虎ノ門駅より徒歩約2分
日程	12月1日(木)～12月6日(火) / 10:00～19:00 ※最終日は15時閉館

※上記以外の開催地につきましては、詳細が決まり次第、ご案内致します。併せて 2011 年度開催会場の募集も行っておりますので、お問い合わせいただけましたら可能な限り、日程調整等をさせていただきたいと存じます。詳しくは、事務局（ラリス株式会社／電話 03-5771-6555）までお問い合わせ下さい。

主 催

- ・特定非営利活動法人 日本国際文化遺産協会

13 年目を迎えた『文化人・芸能人の多才な美術展』は、「文化人・芸能人の多才な美術展」実行委員会（※委員の詳細は P7 に記載）と特定非営利活動法人 日本国際文化遺産協会の共同主催により、同美術展を開催することになりました。

特定非営利活動法人 日本国際文化遺産協会は、2011 年 3 月、特定非営利活動法人「日本国際文化遺産協会」（JAICH）の設立が内閣府に承認された団体です。わが国には豊かな自然の中で、長い年月をかけてはぐくまれた文化遺産が数多くあります。これらは私たちの心の糧になり、歴史や文化を理解するためには欠かせないもので、新しい文化の創造にも大きな役割を果たしています。特定非営利活動法人 日本国際文化遺産協会は、これらの自然と遺産を護り、育み、次世代に伝えていくために組織されました。

後 援

- ・公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団

文化財保護・芸術研究助成財団は、文化財の保存及び活用に関する事業の助成、芸術文化の発展に係る研究活動に対する助成及び世界の文化財の保護に関する国際的な協力・交流等を促進することにより、文化財の保護と芸術文化の充実向上を図り、我が国の文化の発展並びに国際相互理解の促進に寄与することを目的とする法人として 2010 年 3 月に内閣府より新たに公益財団法人として認定を受けました。

当財団は、これまでもシルクロード周辺を主とした地域の文化遺産に対する人的・技術的支援や資金援助を行ってまいりました。故・平山郁夫前理事長が提唱されていた「文化財赤十字構想」の精神にのっとり、今後も文化を通しての社会貢献、国際貢献に尽くす所存です。

- ・全国文化財保存技術連合会

わが国における文化財建造物の保存修理は、明治 30 年の古社寺保存法施行以来、文化財保護事業における重要な施策のひとつとして、今日まで永年にわたり実施されてきました。

これらの国民的文化遺産を守り伝えることに、確かな修理によって貢献することが、私たちに与えられた大切な役割と考えています。

文化人・芸能人の多才な美術展の実績

「芸能人の多才な美術展（旧タイトル）」は、平成 11 年（1999 年）から開始し、昨年までの 12 年間で、延べ 200 万人以上の観客を動員している美術展です。第 1 回目は、福祉を目的としたチャリティー企画として同美術展を開催。その後、文化財保護支援のチャリティー企画として、「拡げよう文化の輪・芸術は世界を救う！」をテーマに、美術展としては異例の憲政記念館を会場にするなど、芸能人や政治家などの才能ある作家の協力をいただきながら、平成 18 年（2006 年）から『文化人・芸能人の多才な美術展』と美術展のタイトルも改め、今年で 13 年目を迎えることになりました。

文化人・芸能人の多才な美術展
2011年度（第13回）出展作家

1. 文化人・芸能人・特別出展者<67名>

浅香光代、竹脇無我、芦野 宏、辻 正司、芦屋小雁、堤大二郎、東ちづる、キャシー中島、安達祐実、中原丈雄、新井晴み、中村繁之、和泉雅子、中邑真輔、市川團十郎、中山律子、市田喜一（左時枝ご主人）、蜷川みほ、OH-SE（電撃チョモランマ隊）、根本りつ子、大和田伸也、鳩山エミリ（鳩山邦夫夫人）、奥山佳恵、鳩山 幸（鳩山由紀夫夫人）、鬼塚勝也、原田直之、風見章子、原田伸郎、亀ひろし（びんから史郎）、原田美紀（原田伸郎夫人）、川崎麻世、左 時枝、岸 ユキ、藤あや子、北野 武、牧 伸二、国広富之、マイク眞木、里見浩太朗、増田登（八代亜紀ご主人）、ザ・ニュースペーパー渡部又兵衛、松村邦洋、ザ・ニュースペーパー松下アキラ、三浦リカ（堤大二郎夫人）、ザ・ニュースペーパー福本ヒデ、美川憲一、三遊亭圓歌、八代亜紀、清水 圭、山本富士子、水前寺清子、山本陽子、ラトナ・サリ・デヴィ・スカルノ、吉田照美、パパイヤ鈴木、若原 瞳

<震災復興応援特別出展>

池田克彦（警視総監）

<特別出展>

絹谷幸二（画家）

絹谷幸二・長嶋茂雄

<特別企画出展>

高橋邦典（戦場カメラマン）

宮嶋茂樹（戦場カメラマン）

渡部陽一（戦場カメラマン）

<美空ひばり 23 回忌特別出展>

美空ひばり

<特別賛助出展>

さいとう・たかを（漫画家）

松本零士（漫画家）

矢口高雄（漫画家）

<特別賛助出展>

紫舟（書家）

2. 衆議院芸術議員連盟、国会議員有志のメンバー <16名>

逢沢一郎（衆議院議員）、鈴木 寛（参・文部科学副大臣）、福田康夫（元

内閣総理大臣)、秋葉賢也(衆議院議員)、谷垣禎一(自由民主党総裁)、松原 仁(衆議院議員)、麻生太郎(元内閣総理大臣)、中川雅治(参議院議員)、元宿 仁(自由民主党本部事務総長)、金子善次郎(前衆議院議員)、鳩山由紀夫(前内閣総理大臣)、山本明彦(前衆議院議員) 小泉俊明(衆・国土交通大臣政務官)、平沢勝栄(衆議院議員) 後藤田正純(衆議院議員)、深谷隆司(元通商産業大臣)



第13回『新・芸能人の多才な美術展』実行委員会

東日本大震災救済応援特別チャリティー企画

「文化人・芸能人の多才な美術展」平成23年度の実行委員会委員

～拡げよう文化の輪・芸術は世界を救う！～

特別顧問	青柳 正規 国立西洋美術館長、元東京大学副学長
実行委員長	亀井 伸雄 元文化庁鑑査官、国立文化財機構東京文化財研究所長
委員（五十音順）	青木 繁夫 サイバー大学世界遺産学部教授 井上 洋一 東京国立博物館事業部教育普及課長 高田 良信 法隆寺元管長 坪井 清足 （財）元興寺文化財研究所、考古学者 泊 懋 東映アニメーション株式会社取締役相談役 沼田 智秀 財団法人仏教伝道協会会長 野口 昇 （社）日本ユネスコ協会連盟理事長 平井 昭司 東京都市大学教授 平尾 良光 別府大学文学部教授（文化財学課） さいとうたかを 劇作家 松本 零士 SF漫画作家、大学教授 矢口 高雄 漫画家・随筆家
監 事	玉井 賢二 （財）文化財保護・芸術研究助成財団顧問
賛助（五十音順）	（衆議院芸術議員連盟会員、国会議員有志の参加メンバー） 逢沢 一郎 衆議院議員、中川 雅治 参議院議員、 秋葉 賢也 衆議院議員、鳩山由紀夫 前内閣総理大臣、麻生 太郎 元内閣 総理大臣、平沢 勝栄 衆議院議員、金子善次郎 前衆議院議員 深谷 隆司 元通商産業大臣、小泉 俊明 衆・国土交通大臣政務官 福田 康夫 元内閣総理大臣、後藤田正純 衆議院議員 松原 仁 衆議院議員、鈴木 寛 参・文部科学副大臣 元宿 仁 自由民主党本部事務総長、谷垣 禎一 自由民主党総裁 山本 明彦 前衆議院議員
事務局長	松岡久美子 ラリス株式会社 代表取締役社長 アートプロデューサー

